

# 幸手市文化遺産だより



第 4 号

平成19年3月1日発行

## <恐竜はなぜ絶滅したか>

子ども達には大人気の“恐竜”ですが、彼らは中生代のジュラ紀及び白亜紀に地球上の大半の地域で繁殖し、その後急速に絶滅していった・・というくらいが恐竜に関する普通の知識ではないでしょうか。時折りニュースで恐竜の化石発見が伝えられますが、では、なぜ彼らは絶滅してしまったのでしょうか。

「図書館を持たなかったから。」というのがその答でした。これはある資料保存に関するシンポジウムで、講師の方が海外の図書館関係の方の話として伝えてくれたものです。真剣に考えられた方には大変失礼しましたが、それにしてもこれはどういう意味だと思われますか？単なる冗談ではなく、痛烈な文明批判でもあるし、大いなる皮肉とともとることができます。

これは図書館関係者の話なので「図書館」なのですが、「資料館」や「文書館」に置き換えても同じことだと言えるでしょう。つまり、自分達の生まれや成り立ちや成長の記録としての書籍や冊子また文書や写真といったものを残しておかないと、自分を認識して反省したり将来の展望を考える要素がなく、発展するきっかけを失い、種は滅びるということだと思のです。

個人にしても企業や団体にしても地域にしても自治体にしても、その記録が全く無いということは考えられません。個人ならば子どもが生まれればまず戸籍に載せ、成長する写真を撮影し、企業や団体ならば創立十周年で冊子を作るというように、何らかの足跡が刻まれるはずで。そういった記録をいかに意識的に体系的に残していくかによって、過去を振り返り将来の姿を描く時に大きな差となってしまうのではないのでしょうか。

滅びるといふといかにも大袈裟ですが、隆盛と衰退は様々な要素を抱えて様々な場面で訪れるので、それを適確に予測し対策を講じなければなりません。自分自身がそして地域が発展するように記録や資料を残していくことが大切なのだと考えています。

## 新発見の文化財 — 鈴木百淵の供養塔 —

市史編さん事業の中で市民ボランティアの方々の協力により実施した「市内石造物調査」によって様々な墓石や供養塔が発見されましたが、今回もその調査によって江戸時代の幸手の心学者である鈴木百淵の筆子（弟子）が建立した石塔が新たに確認されました。

詳しくは次のページをご覧ください。

## ◆鈴木百淵と心学◆

鈴木百淵は上高野村に住んでいた心学者で、宝永7年(1710)の生まれと推測されますが没年は不明です。幼名を武助といい、後に美矩と名乗ります。父親は医者で出羽国米沢(現在の山形県米沢市)の出身であることが分かっています。

父の死後仏教を深く信仰し、母の死後上高野村に縁を頼って移り住んだといわれ、上高野村字菩薩株の梅林寺に書生として奉公していたと伝えられています。後に村内の光福院(現在南2丁目に墓地だけ残っています)に「文中堂」という寺子屋を開き、子ども達に読み書きを教えました。

心学とは正直・儉約・孝行などを旨とする道徳的な教義を主体として分かりやすく民衆に説く学問で、百淵も『幼童便蒙』や『元原本尋』などの著書によりその本質を記しています。



大般若経六百巻書写供養塔  
(上高野神社)

## ◆大般若波羅蜜多経の書写◆

鈴木百淵の業績としては、先に記した著書の他に「大般若波羅蜜多経」600巻の書写があります。両親の死後、その冥福を祈り一念発起して宝暦12年(1762)4月1日から経典の書写を始め、天明元年(1781)9月28日におよそ20年に及ぶ大願を成し遂げます。その間には上高野村を中心として広く寄附が寄せられ、それぞれの巻末に寄附者の名前が記されています。そして翌天明2年(1782)3月には上高野神社の中に「大般若経六百巻書写供養塔」を妻とともに建立しました。



大般若波羅蜜多経(祥安寺)

この「大般若波羅蜜多経」は現在南3丁目の祥安寺に所蔵され、子から亥の墨書がある12の木箱に50巻ずつ収められており、平成10年4月1日に箱ともども市の指定文化財(有形文化財典籍)となりました。しかし、600巻のうち19巻はすでに失われており、現存するのは581巻で、その内578巻は百淵書写のもので3巻は明治時代に地元の有力者によって書写されたものです。

教育委員会ではこれらをマイクロフィルムに撮影し、資料の保存を図っています。

## ◆確認された百淵の石塔◆

この石塔は中川崎の安楽院の境内にあるもので、正面には「文中院真往百淵居士・真如院円月寿光大師 霊位」とあり、百淵夫妻の供養のために建てられたことがわかります。そして左側面には「天明二寅八月六日 幸手領川崎村 施主筆字中」、右側面には「天明三卯九月十七日」と刻まれています。

2つの年号の意味するものは何でしょうか。天明2年は3月に百淵が上高野神社に経典書写完成の石塔を建てた年です。その年の8月6日に百淵が逝去したという可能性もあります。そして石塔の建立が天明3年(1783)9月17日なのではないかとも考えられます。いずれにしろ、鈴木百淵が広範囲に弟子を持っていたことが伺える資料といえるのではないのでしょうか。



百淵夫妻の供養塔  
(安楽院)

# 文化遺産保存公開日誌抄

(平成17年4月1日~18年3月31日)

平成17年

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 4. 4 石造物データ整理(資料室)    | 14 石造物確認調査(惣新田)       |
| 5 石造物データ整理(資料室)       | 20 石造物確認調査(惣新田)       |
| 7 国体資料収集(アスカル幸手)      | 行政文書収集(市役所)           |
| 11 石造物データ整理(資料室)      | 21 行政文書収集(市役所)        |
| 12 石造物データ整理(資料室)      | 24 埼玉地区文化財担当者会(八潮市)   |
| 13 第3回市史講座打合せ(図書館)    | 27 伝統文化芸術伝承事業打合せ      |
| 18 石造物データ整理(資料室)      | (上高野小)                |
| 石造物確認調査(惣新田)          | 石造物確認調査(惣新田)          |
| 19 石造物データ整理(資料室)      | 石造物データ整理(資料室)         |
| 石造物確認調査(惣新田)          | 資料調査(聖福寺)             |
| 21 文化財保護協会理事会(さいたま市)  | 28 民具資料館見学(香日向小)      |
| 26 石造物データ整理(資料室)      | 文化財保護行政担当者のためのIPM     |
| 27 元栗橋城跡調査(茨城県五霞町)    | 入門(東京文化財研究所)          |
| 28 金子家文書調査(資料室)       | 29 民具資料館見学(上高野小)      |
| 5. 2 金子家文書調査(資料室)     | 7. 7 行政文書収集(市役所)      |
| 9 石造物データ整理(資料室)       | 8 行政文書収集(市役所)         |
| 10 石造物データ整理(資料室)      | 11 石造物調査(惣新田・惣新田高須賀)  |
| 資料調査(聖福寺)             | 12 石造物データ整理(資料室)      |
| 13 記録管理学会研究大会(京都大学)   | 14 文化財保護行政主管課長会議(行田市) |
| 16 石造物データ整理(資料室)      | 19 石造物確認調査(惣新田)       |
| 17 石造物データ整理(資料室)      | 24 神楽衣装・面調査(中川崎)      |
| 総合学習授業(幸手小)           | 25 石造物確認調査(惣新田)       |
| 23 石造物データ整理(資料室)      | 26 石造物データ整理(資料室)      |
| 石造物確認調査(惣新田)          | 27 郷土資料館視察(北川辺町)      |
| 行政文書収集(市役所)           | 8. 1 石造物確認調査(惣新田)     |
| 24 石造物データ整理(資料室)      | 石造物編集作業(資料室)          |
| 行政文書収集(市役所)           | 2 石造物データ・写真整理(資料室)    |
| 25 全史料協関東部会総会(横浜市)    | 3 文化財講習会(さいたま市)       |
| 26 埼玉地区文化財担当者会総会(杉戸町) | 4 幸手駅周辺開発立合い          |
| 30 石造物データ整理(資料室)      | 5 文化財めぐり(幸手市教育研究会)    |
| 31 石造物データ整理(資料室)      | 文化財講習会(さいたま市)         |
| 6. 1 埼玉協総会(さいたま市)     | 第3回市史講座打合せ(さいたま市)     |
| 3 伝統文化芸術伝承事業打合せ(上高野小) | 20 第3回市史講座<近世>①(図書館)  |
| 6 石造物データ整理(資料室)       | 22 石造物写真撮影・確認調査(惣新田)  |
| 7 文化財保護協会評議員会・研修会     | 石造物データ整理(資料室)         |
| (日高市)                 | 23 石造物データ整理(資料室)      |
| 10 日本棋院・囲碁殿堂資料館より来市   | 27 第3回市史講座<近世>②(図書館)  |
| (本因坊8世伯元・9世察元墓石調査)    | 29 石造物データ・写真整理(資料室)   |
| 13 石造物確認調査(惣新田)       | 30 石造物データ整理(資料室)      |

- 9. 8 総合学習授業 (栄中)
- 10 第3回市史講座<近世>③ (図書館)
- 16 埼葛地区文化財担当者会 (鷲宮町)
- 26 民具資料館見学 (幸手小①)  
石造物データ整理 (資料室)
- 27 石造物データ整理 (資料室)
- 28 民具資料館見学 (幸手小②)
- 30 民具資料館見学 (さくら小・幸手小③)
- 10. 1 第2回小学生文化財めぐり (市内)
- 3 石造物データ整理 (資料室)
- 4 石造物データ整理 (資料室)
- 17 石造物データ整理 (資料室)
- 18 石造物データ整理 (資料室)
- 19 稲葉家文書整理 (資料室)
- 21 民具資料館見学 (さかえ小)
- 24 石造物確認調査 (神扇)
- 25 石造物確認調査 (平野)
- 27 埋蔵文化財事前調査 (下川崎)
- 28 埼史協主管課長会議 (桶川市)
- 31 石造物確認調査 (平野)
- 11. 1 文化財保護協会理事会 (さいたま市)
- 9~11 全史料協全国大会 (福井県福井市)
- 14 石造物確認調査 (平野・中野)
- 15 石造物確認調査 (長間)  
古文書マイクロ撮影開始 (資料室)
- 17 文化財保護協会研修会  
(さいたま市・茨城県水海道市)
- 19 シンポジウム「歴史文化遺産のリスクマネ  
ジメントとネットワークを考える」  
(東京都江戸東京博物館)
- 22 石造物確認調査 (榎野地)
- 25 埼葛地区文化財担当者会 (三郷市)
- 28 石造物編集作業 (資料室)

- 29 石造物編集作業 (資料室)
- 12. 2 石造物編集作業 (資料室)
- 9 埼史協視察研修会 (国立公文書館)
- 11 伝統文化芸術伝承事業 [伯元・察元・  
烈元記念囲碁の会] (南公民館)
- 12 石造物編集作業 (資料室)
- 13 稲葉家文書整理 (資料室)
- 14 文化財保護審議会会議 (市役所)
- 15 稲葉家文書整理 (資料室)
- 16 養蚕連北葛支所資料整理 (資料室)
- 19 養蚕連北葛支所資料整理 (資料室)

平成18年

- 1. 10 石造物データ整理 (資料室)
- 16 石造物データ整理 (資料室)
- 17 石造物データ整理 (資料室)
- 20 養蚕連北葛支所資料整理 (資料室)
- 23 石造物データ整理・編集作業 (資料室)
- 24 石造物データ整理・編集作業 (資料室)
- 31 石造物データ整理 (資料室)
- 2. 15 民具資料館見学 (教育委員)
- 21 国体資料収集 (アスカル幸手)
- 3. 1 「幸手市文化遺産だより 第3号」発行
- 10 文化財保護協会理事会 (さいたま市)
- 11 伝統文化芸術伝承事業 [伯元・察元・  
烈元記念囲碁の会] (南公民館)
- 13 全史料協防災セミナー  
(国文学研究資料館)
- 14 本因坊関係資料調査 (京都市寂光寺)
- 15 本因坊関係資料調査  
(巣鴨本妙寺・囲碁殿堂資料館)
- 17 年金者組合幸手支部文化財めぐり (市内)
- 24 「幸手市文化遺産調査報告書  
第2集 幸手の石造物II」発行

## 幸手市文化遺産だより

第4号

平成19年3月1日発行

編集：幸手市教育委員会生涯学習課

〒340-0192 幸手市東4-6-8

TEL 0480-43-3248 (直通) FAX 0480-43-5118

発行：幸手市教育委員会